

第4編 重点プロジェクト編

- 1 重点プロジェクトの考え方
- 2 未来を創るまちづくりプロジェクト
 - (1) 自然と調和した快適で住み続けられるまちづくり
 - (2) 安全・安心が実感できるまちづくり
 - (3) 町民とともにつくりあげる協働のまちづくり

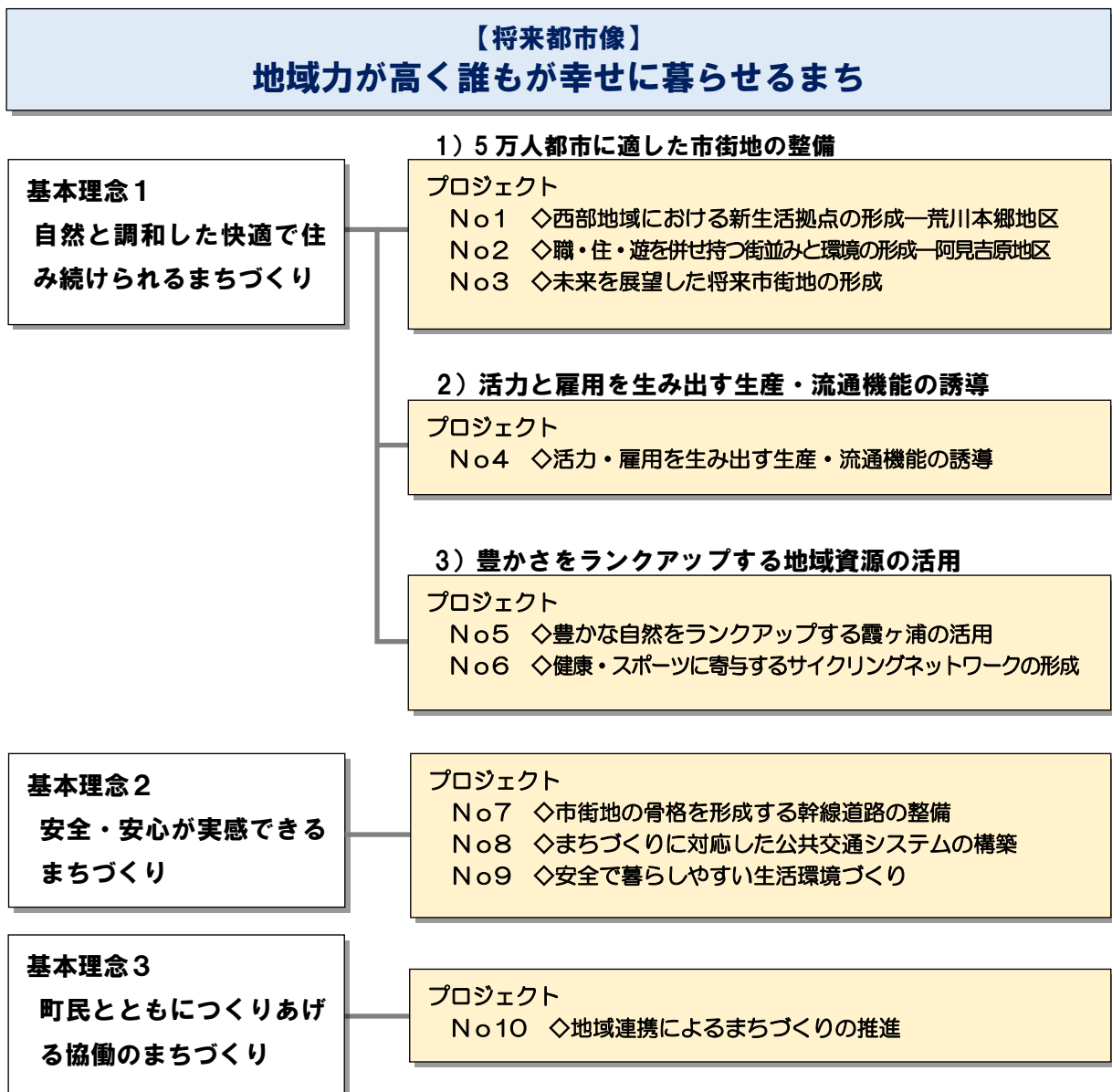
1 重点プロジェクトの考え方

阿見町都市計画マスタープランは、総合計画の都市整備・都市計画部門の施策・事業を具体的に推進していく部門別計画です。

本計画では、今までの重点プロジェクトの継続性を活かしながらも、「第7次総合計画」の「リーディングプロジェクト」や、社会情勢の変化、それぞれのプロジェクトの進捗などを踏まえて、時点修正や内容の強化などを行い、本計画の重点プロジェクトとして提示します。

戦略的にまちづくりを進めていくために、重点プロジェクトに位置づけた施策・事業については、実施可能なものから、優先的かつ着実に推進していくものとします。

都市計画マスタープランでは、「未来を創るまちづくりプロジェクト」として次の10のプロジェクトを展開します。



2 未来を創るまちづくりプロジェクト

本町が将来にわたって持続可能なまちとして発展していくには、町の現状を見極めながら、20年先の未来を創るまちづくりを計画的に推進していくことが必要です。

そのため、人口5万人に対応した市街地の整備や、活力と雇用を生み出す生産・流通機能を誘導できる土地利用を目指すとともに、都市の骨格となる道路の整備を促進します。

また、霞ヶ浦を活かし、豊かな自然をランクアップする水と緑の活用を図ります。さらに、町民にとって暮らしやすく、安全・安心が実感できる交通環境・生活環境を目指します。

基本理念1 自然と調和した快適で住み続けられるまちづくり

1)5万人都市に適した市街地の整備

プロジェクトNo1 ◇西部地域における新生活拠点の形成—荒川本郷地区

- ゆとりある美しい街並みと豊かな生活環境を有する活力あふれたまちを目指します。
- 民間事業者の開発動向に合わせ、地区内の都市計画道路や上下水道、関連する生活道路のインフラ整備を効果的に推進します。
- 町有地を活用し、民間開発や組合区画整理等による計画的な市街地の形成を促進します。
- 地区の特性を活かし、賑わいと生活利便性に優れたゾーンや水辺空間、自然環境を活かした潤いの場を創出します。
- 地区計画に基づき計画的な土地利用を推進するとともに、良好な街並み形成の誘導を図ります。
- 脱炭素化を推進するために、まちづくりのコンパクト化やゆとりと賑わいのあるウォークアブルな空間形成を図ります。



◆スーパーマーケット（荒川本郷）

プロジェクトNo2 ◇職・住・遊を併せ持つ街並みと環境の形成—阿見吉原地区

- 自然と調和した、賑わいと交流を促進する、魅力ある街並みや住みよい環境の形成を目指します。
- 地区計画に基づき計画的な土地利用を推進するとともに、最低敷地規模や壁面の位置の制限、かき又はさくの構造制限などにより良好な街並み形成の誘導を図ります。
- 居住地と業務用地が共存する複合的な市街地であるため、産業活動の促進と住環境の調和がとれた、職住近接の活力あるまちの形成を目指します。



◆アウトレットモール

プロジェクトNo3 ◇未来を展望した将来市街地の形成

- ・上本郷中根区域については、阿見吉原地区での人口定着や荒川本郷地区での住宅を中心とする整備状況を見極めながら、ひたち野うしく駅との近接性を活かした、将来的な市街地の形成について検討します。

2)活力と雇用を生み出す生産・流通機能の誘導

プロジェクトNo4 ◇活力・雇用を生み出す生産・流通機能の誘導

- ・筑波南第一工業団地、阿見東部工業団地、福田工業団地、阿見吉原地区を含む生産・流通ゾーンでは、圏央道へのアクセス性を活かし、雇用創出につながる生産・流通機能の誘導・強化を図ります。
- ・牛久阿見インターチェンジ周辺の生産・流通ゾーンの(都)阿見・小池線と(都)中根・飯倉線の結節点にあたる牛久阿見インターチェンジ周辺開発地区は、優れた立地特性と利便性を活かし、生産・流通機能の立地に向けた土地利用を推進します。



◆牛久阿見インターチェンジ

3)豊かさをランクアップする地域資源の活用

プロジェクトNo5 ◇豊かな自然をランクアップする霞ヶ浦の活用

- ・霞ヶ浦の良好な景観をより豊かな自然景観に高めるため、湖岸の散策路、桜並木の整備、サイクリングロードの整備を推進します。
- ・かわまちづくり計画による緩傾斜堤防、桜堤、湖岸を活用した小公園の整備や茨城国体セーリング競技場跡地などを活かし、豊かな自然のランクアップを図ります。



◆霞ヶ浦と筑波山

プロジェクトNo6 ◇健康・スポーツに寄与するサイクリングネットワークの形成

- ・町民の健康増進やスポーツ活動のフィールドとして、湖岸のサイクリングロードを含めた町内をネットワークするサイクリングネットワークの形成を推進します。そのため、霞ヶ浦平和記念公園、島津小公園、湖南公園、アウトレットモール、阿見町総合運動公園、本郷親水公園などを拠点にネットワークの充実を目指します。

基本理念2 安全・安心が実感できるまちづくり

プロジェクトNo7 ◇市街地の骨格を形成する幹線道路の整備

- ・町の東西を結ぶ都市軸道路である（都）寺子・飯倉線の整備を推進します。
- ・牛久阿見インターチェンジの利便性向上と都市機能の集積を目指し、（都）阿見・小池線、（都）中根・飯倉線の早期整備を促進します。

プロジェクトNo8 ◇まちづくりに対応した公共交通システムの構築

- ・荒川本郷地区や阿見吉原地区など新しい都市の整備や人口の定着に併せた路線バスの充実を目指し、公共交通の利便性の向上を図ります。
- ・デマンドタクシー「あみまるくん」は、利用者のニーズに対応できるように、自動車配車システムを見直しながらサービス水準の向上を図り、また、安全対策を継続して行い運行効率の向上に努め、町民が気軽に利用できる公共交通を目指します。



◆デマンドタクシー
「あみまるくん」

プロジェクトNo9 ◇安全で暮らしやすい生活環境づくり

- ・生活道路については、4m道路の舗装整備など都市施設の更新を図り安全性を高めます。
- ・平常時における道路や上下水道などのインフラの維持・補修等を実施し、災害に強いまちづくりを推進するとともに、自主防災組織を育成し地域における防災力の向上を図ります。
- ・安全で快適な生活環境を維持するために、空家調査を継続的に実施し、所有者への適正管理を促すとともに、空き家バンク制度による空家の利活用を推進します。

基本理念3 町民とともに作りあげる協働のまちづくり

プロジェクトNo10 ◇地域連携によるまちづくりの推進

- ・町内に多くの高等教育機関が立地する優位性を活かし、公共交通、農業、医療の分野などについて大学等と連携事業を推進し、本町を新たな「もの」や「しくみ」などを生み出すフィールドとして積極的に活用するとともに、地域連携によるまちづくりを推進します。
- ・町民や事業者等の様々な主体と行政がまちづくりの課題を共有し、町民等がまちづくりに参画する仕組みを通して、町に愛着をもって住み続けられる協働のまちづくりを推進します。

